



夕刊 行發日三十二月七

湯ノ嶽キヤンプの記

湯ノ嶽 麓人
江政君も初めはうたゝ寝をしたやうだが...

磐城歌壇

新妻 久満夫 選
早戸山の君を逢へば空に、淡くかゝれる明方の月...

宗吾堂

伊達 森里
宗吾堂の黒き位牌や若葉風
賢沼所見
腹切や夕浪立てる賢沼

句帳から

好問 伊藤 寛字
お祭りの下相談と呼ばれけり
お祭りの下相談や宮灯る

浪人長屋 (146) 日枝武志作
月草 蓮子 畫

社會の今日
大空に何も無ければ入道雲、むくむくとりと湧きにけるかも



浪人長屋 (146) 日枝武志作
月草 蓮子 畫
お園、何か、食べ物を運んで来たので二人は話を外してしまつた...

鐵之助は難な奴が来たたらは、あの、その、おのさ...
お園、これはお園さんとお園、これはお園さんとお園...

郡山脳病院
精神科、脳脊髄科、神経科

開業
齒科、外科、小兒科、産科

自轉車
フタバ商會

關影商店平支店
本店 水戸線下館驛前

日本石油株式會社
關影商店平支店

渡邊醫院
小兒科、花柳科

海老野天壽軒
酒造家

上田醫院
外科、眼科、皮膚科

お醬油は ヤマフル
山崎合名會社

石城酒造
酒會

優等白鳥
入選

月曜論壇

淫霖と野球大會

陶酔と感激の裡に期待された縣下中等學校野球大會の第一日たる今日二十三日が灼熱の土用にあるまじき...

雨の宿舎に待機の選手 決行の煙火に踊り上る

待望の今日二十三日は再たしても厭な淫雨にあらた昨日夕方刻来の雨に氣を腐らした主催関係、各選手、大小ファンは何れも早くから足ふんだ天候の心配が不幸杞憂に終らなかつた事に萬分の恨を吞み作らも刻々變化する空の明暗に神経を總動員し...

泥水の飛沫を上げ 自動車は球場へ

これより先味気なき雨の宿舎に込めばファンも陸上水に含んで鉄腕とバットを握り押し寄せる、球場は協を通過し枚挙に遺なき中...

萬雷の拍手裡に 壯麗な繪巻を展開

かくてからりと輝いた十二の覇者福中野山主将より優時十分、豊口中野球部副部長を返還し、末原會長の部長を先頭に急激の拍手を聞かせ、協賛會長香沼町...

悪コンチンキンに 平商會工先づ起つ

一時五分試合開始 かくて冒頭平商對會工の對會工先攻を開始時に一時五分、平商の軽いウオーミア分、(球審)藤田(壘審)天...

石中 002004 安中 000000 湯本球場 一回の得點福中...

序奏組合せ 平商會工 聲中若商 興味の序奏をなす中學校庭に開く縣下中等學...

天候回復未だし 海水浴場氣には縁遠い 小名濱測候所の觀測...

度量衡支那部會總會 午後廿五日小名濱で開催 日本度量衡協會及計量官...

福好工業資會社 謹告 今般左記へ移轉し候に付倍の御容願相仰ぎ度...

石中對安中 安中五回迄得點 石中對安中の試合は石川先攻に一時五分より開始...

刻下の非常時を念ひ 郷軍人の本分を盡さん 昨日模擬動員で満場決議...

庭球組合せ けふから田中で 今二十三日から三春町田村を除き午後六時二十分を最開始...

平警員建團 本縣劍道連隊連員 日頃の鍛練を傾け、善二、吾等在郷軍人は一層團結を鞏固にし皇國精神の...

観維球場 小樽山校長の頭へ奇蹟あり 入場式、出た、入場式、出た、入場式、出た...

決戦を占ふ 地元二校に就て 鶴智 尙神職は吉か凶か會工には練習不足の感みか...

庭球組合せ けふから田中で 今二十三日から三春町田村を除き午後六時二十分を最開始...

天候回復未だし 海水浴場氣には縁遠い 小名濱測候所の觀測...

度量衡支那部會總會 午後廿五日小名濱で開催 日本度量衡協會及計量官...

福好工業資會社 謹告 今般左記へ移轉し候に付倍の御容願相仰ぎ度...

最後、該備しに際し私財を抛ちつつ東奔西走諸般の準備に竭された一部有志に對し滿腔の敬意を表する(廿三日午前九時記)